

令和5年度

事業報告

社会福祉法人 松豊会

令和5年度 社会福祉法人松豊会 事業報告

1. 基本理念・運営方針

松豊会の法人理念「やすらぎのある生活、その人がその人らしく、地域と共に」を支援の方向性として共有化し実践することで、福祉サービスの質の向上と、経営の透明性の確保を図りました。また、社会福祉の中心的な担い手として地域社会に対する社会福祉法人の責務を果たす。

2. 中長期事業報告

(1) 法人運営の安定

利益の確保については、特養は本館、新館共に目標稼働率を達成しましたが、短期入所については、昨年と同様に入居に繋げることはできませんでしたが、短期入所の空床を補うことが出来ず稼働が下がりました。また、近年、入居申し込みも少なく、他の特養と奪い合うという現状も見られます。適度な競争意識を持ち、供給する能力を高め、稼働率アップに繋がりたいと考えます。在宅事業についても、昨年度より実績が下がりました。職員の減員や介護予防の件数増が要因と考えます。収支バランスやニーズを精査しながら運営していきます。

近年、各地域で災害が頻発している状況から、災害や感染症発生時の対応の強化として、業務継続計画を策定しました。

今後も、事業の継続と発展のために機動性、収益性を高めていきます。また、物価高騰や感染症発生時の経費を備えながら、法人が有する施設や設備、職員を活用し、社会福祉法人の責務を果たしていきます。

(2) ご利用者に対する基本姿勢

常にご利用者やご家族の立場に立って、個人の尊厳や個性に配慮したサービスが提供できるよう、ご家族に電話や手紙で定期的にご様子をお知らせしたり、カンファレンスや家族会に参加して頂き、自己決定や選択を尊重しました。また、施設サービス計画についても、事前カンファレンスで課題の共有を図り、ご利用者やご家族の意向を踏まえた課題分析を行い、プランを策定しました。

安全管理（虐待・身体拘束・事故リスク）への取り組みとして安全管理委員会を中心に毎月、分析や評価を行い、再発防止のために研修会を定期的実施しました。事故発生件数は前年に比べ減少しましたが、誤薬や服薬管理等の防ぐべき事故が繰り返されています。原因分析と再発防止策の徹底を図りできる限り事故を回避できるよう適切なケアに努めます。また、虐待については、発生事例はありませんでしたが、「虐待の芽チェックリスト」と「第三者評価」

を行い、不適切ケアを改善するよう努めました。今後も、個人の尊厳を守りながら、リスク管理を強化し、事故防止に努めていきます。

(3) 地域社会に対する基本姿勢

コロナウイルス感染症は5類に移行し、規制緩和はされましたが、高齢者施設での集団感染のリスクは変わらず、地域共生会議を開催することは、出来ませんでした。自治会の会合やイベントに出来るだけ参加し、地域の福祉ニーズの把握に努めました。しかし、機会も少なく十分ではありませんでした。また、本館1階改修工事も伴い法人の有する施設設備や職員を活用して交流を図ることも難しい状況が続き、地域の中で協働して支え合い穏やかな見守りにより暮らしが継続できるセフティネットを構築するには至りませんでした。

地域の方と協働で行う総合避難訓練は実施できませんでしたが、引き続き自治会との防災協定書を締結し応援協力をお願いしました。施設内では、感染防止策を徹底して、火災時や土砂災害時の避難訓練を実施し有事に備えました。

(4) 福祉人材に対する基本姿勢

福祉人材の確保は一層難しい状況で、今年度も有料人材紹介会社を活用し、2名の方（介護職）を採用しました。また、業務内容や責任に応じた雇用を検討し、シルバー派遣事業や人材派遣会社を活用し、2名の方を（環境整備・調理）雇用しています。今後、さらに多様な人材や働き方を推進する必要があると考えます。

職員の定着については、賃金の改善が必要と考えますが、賃金規程や人事考課規程、職掌等級制度規程の改定までには至りませんでした。引き続き処遇改善を勧めて、より働きがいのある職場になるよう努めていきます。

ICTの活用による職員の負担軽減については、介護ソフトや介護ロボットを活用し事務業務の効率化を図り、職員の職場環境の改善に努めました。まだ、十分に成果が出ているとは言えませんが、業務の効率化だけでなく、サービスの質の向上にも直結すると考え運用していきたいと考えます。

(5) 法令遵守等

制度や危機管理に対応するために、必要な法令の理解や改正への対応を速やかに行いました。また、全職員に対して会議や研修で周知を図り、高い倫理性と知識を持ち業務が適正に遂行されるよう努めました。

(6) 法人役員会の開催（別紙：松豊会役員会実績）

(7) 職員研修

職場内研修については、22回（前年12回）企画し述べ401名（前年196名）の職員が参加しました。感染予防の観点から、法人全体での集合研修は開催しませんが、各部署での会議やミーティングを活用し研修を実施しました。必須の研修や各部署の抱えている問題に直結した研修会を開催すること

で実践に繋がりました。

また、オンラインを導入し外部研修を自施設から受講するようになり、効率よく研修等に参加できるようになりスキルや知識の向上に繋がりました。

(別紙：施設内研修実績)

(8) 苦情・要望の対応

相談業務（職員の態度、説明）に対して2件の苦情がありました。速やかに苦情処理委員会を開催し原因分析・対応改善策を検討しました。また、定期苦情処理委員会で経過を報告し振り返り、対応が一過性に終わることなく継続できているか確認し再発防止に努めました。

今後も、ご心配やご不安を解消できるように相手の話を聞く姿勢を大事にし、ご意見やご要望を速やかに組織で解決していき、再発防止やサービスの質の向上、信頼関係の構築に繋がっていきます。

(9) 防犯・防災管理

総合避難訓練については、火災を想定した通報・避難訓練を実施し、消防署の方から評価・指導を頂きました。また、施設内でできる避難訓練（火災、土砂）、非常持ち出し訓練、緊急連絡訓練、備蓄食料品の確保等実施しました。

避難訓練では、誘導の手順の曖昧さや確認不足が見られました。繰り返し訓練を実施改善に努めます。設備については、定期的な設備点検を適切に実施し、不具合があれば速やかに修繕しました。また、職員も避難経路や危険箇所のチェックを行い安全確保に努めました。

(別紙：防災訓練実績報告)

事業継続計画（BCP）については、防火管理委員会で定期的に検討し策定しました。次年度は、この計画を基に研修・訓練を実施していきます。また、原発事故を想定した訓練も実施予定です。

(10) 広報活動

広報誌は2回発行しました。ホームページについては各部署で適宜更新を行いましたが、リニューアルには至らず情報発信不足でした。

(11) 事務部門

- ①物品等のコスト削減の提案に努め、計画的な予算執行に努めました。
- ②介護保険報酬請求については、法令に定められた基準に基づいて適切に請求事務を行い、収益性、信頼性の高い経営を行うよう努めました。
- ③職員が働きやすい環境を整えるため、介護ロボット導入補助金を活用し離床キャッチセンサー付ベッド、体圧分散エアーマットの導入を行い、見守り等の介護業務の負担軽減を図りました。また、前年度に導入した介護ソフトを活用し介護保険請求及び介護記録等の事務業務の効率化を図り、職員の職場環境の改善に努めました。
- ④介護ソフト導入に伴い、各部署と連携を図り、スムーズに活用ができるよ

うに努めました。また、タブレット等の機器の管理に努めました。

- ⑤職員共通の連絡ツールを活用し必要な情報を共有できるように努めました。
- ⑥施設からのお知らせや緊急時の情報を携帯電話へ直接配信するシステムを活用し、ご家族や職員へ迅速に情報を提供する環境作りに努めました。
- ⑦ご利用者やご家族が安心して生活が送れるように、感染対策を行いながら対面で面会が出来るように、調整、連絡を行いました。また、職員がオンライン研修や会議がスムーズに行えるよう環境整備を行いました。
- ⑧感染症発生時に介護職員、看護職員が迅速に対応できるように、初動対応用の物品を準備し、消耗品が不足しないように努めました。また、適正な在庫量になるように確認、調整、見直しに努めました。
- ⑨施設での職員のコロナ検査が適正に行えるように検査キットの管理に努めました。
- ⑩事務業務の効率化を目指し、積極的に事務業務の見直しに努めました。
- ⑪物価高騰や感染症発生時の経費に備え、積極的な補助金活用に努めました。
- ⑫適正で透明性のある財務管理に努めました。

(12) 会議・委員会の開催（別紙：会議・委員会開催実績）

法人理念の実現や業務の円滑な運営を図るため、個々の意見を聞き、他職種との連携を図り日常業務に生かすことを目的とし運営しました。

多人数での対面での会議や委員会の開催は自粛しましたが、タイムリーに関係者が集い検討し、速やかに対応を発信するよう努めました。

令和5年度 稼働状況実績報告書

社会福祉法人 松豊会

番号	サービス区分名	指標	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	平均	目標値	前年度 平均		
1	特別養護老人ホーム (本館)	稼働率	97.8%	97.3%	93.5%	94.6%	95.6%	95.4%	96.6%	99.1%	98.0%	96.3%	94.7%	99.3%	96.5%	96.0%	95.7%		
		平均介護度	4.20	4.23	4.17	4.16	4.19	4.24	4.24	4.24	4.21	4.26	4.28	4.30	4.38	4.24	4.08		
2	特別養護老人ホーム (新館)	稼働率	95.3%	99.8%	97.6%	93.2%	96.5%	98.6%	94.8%	95.4%	97.1%	98.7%	97.5%	95.1%	96.6%	95.0%	94.4%		
		平均介護度	4.00	4.03	3.99	3.88	3.88	3.84	3.81	3.84	3.89	3.90	3.95	3.95	3.91	3.91	3.97		
3	短期入所	稼働率	20.0%	34.7%	35.8%	25.8%	27.0%	52.9%	59.3%	67.5%	66.9%	70.2%	84.9%	73.0%	51.5%	75.0%	53.0%		
		平均介護度	2.75	3.04	3.24	3.97	4.40	3.64	3.39	3.46	3.77	3.77	3.88	4.46	4.46	3.65	3.64		
4	訪問介護	訪問時間(介護)	138.8時間	157.7時間	148.2時間	111.0時間	139.4時間	106.8時間	112.7時間	105.7時間	126.6時間	98.4時間	106.6時間	110.4時間	110.4時間	121.9時間			
		訪問時間(支援)	133.0時間	135.4時間	149.4時間	140.8時間	149.4時間	137.8時間	145.5時間	143.6時間	143.6時間	132.8時間	109.5時間	110.4時間	115.3時間	133.6時間			
		訪問時間(障がい)	225.5時間	186.9時間	210.3時間	194.3時間	184.8時間	181.4時間	191.9時間	172.2時間	172.2時間	177.8時間	145.1時間	158.9時間	162.4時間	182.6時間			
		訪問時間合計	497.3時間	480.0時間	508.0時間	446.0時間	473.5時間	426.0時間	450.1時間	421.5時間	421.5時間	437.2時間	353.0時間	375.9時間	388.1時間	438.1時間		(介護) 163.0時間	
		1人利用時間	7.4時間	7.9時間	8.3時間	8.0時間	8.5時間	8.0時間	8.2時間	8.4時間	8.4時間	8.4時間	7.1時間	7.8時間	8.1時間	8.0時間		(支援) 146.1時間	
		1人受持人数	11.2人	10.2人	11.6人	10.7人	11.3人	10.7人	11.1人	10.7人	10.1人	10.5人	10.1人	10.1人	9.7人	9.7人	10.6人		(障がい) 205.9時間
		平均単価(介護)	5,309.9円	5,639.9円	5,454.1円	5,549.8円	4,507.9円	5,438.1円	5,525.7円	5,388.1円	5,439.4円	4,439.4円	5,451.6円	5,462.1円	5,468.2円	5,302.9円			
		平均単価(支援)	5,123.6円	4,926.5円	4,585.4円	4,961.1円	4,851.8円	4,948.9円	4,687.9円	4,850.0円	5,242.4円	6,046.1円	5,834.4円	5,012.6円	5,094.6円	5,009.9円			
		平均単価(障がい)	5,485.6円	5,801.6円	5,757.8円	5,381.0円	5,346.4円	5,357.6円	5,243.6円	5,404.9円	6,046.1円	5,336.8円	5,503.6円	5,281.7円	5,370.1円	5,290.3円			
		平均単価(合計)	5,339.7円	5,501.6円	5,324.3円	5,290.5円	4,943.5円	5,245.6円	5,134.6円	5,211.7円	5,336.8円	5,211.7円	5,503.6円	5,281.7円	5,370.1円	5,290.3円			
		請求件数(介護)	75件	74件	76件	77件	74件	80件	77件	70件	77件	67件	66件	62件	62件	64件	71.8件		介護: 70.1件
		請求件数(予防)	45件	45件	45件	43件	44件	46件	45件	49件	45件	52件	50件	49件	49件	54件	47.3件		予防: 50.6件
		請求件数合計	120件	119件	121件	120件	118件	126件	122件	119件	119件	119件	116件	111件	111件	118件	119.1件	133件	
		1人受持人数	34.3人	34.0人	34.6人	34.3人	33.7人	36.0人	34.9人	34.0人	34.0人	34.0人	33.1人	31.7人	31.7人	33.7人	34.0人		
訪問介護利用者	46.0人	50.0人	51.0人	52.0人	49.0人	59.0人	50.0人	48.0人	48.0人	48.0人	49.0人	46.0人	46.0人	44.0人	49.3人				
事業所内利用者(訪問)	17.0人	19.0人	21.0人	16.0人	17.0人	17.0人	19.0人	16.0人	16.0人	15.0人	16.0人	14.0人	14.0人	13.0人	16.7人				

平均年齢	男性	津田の里本館	80.9歳
	女性	津田の里新館	86.0歳
平均在所数			87.2歳
			1416.3日
			1316.3日

令和5年度会議・委員会

委員会名	開催日
運営会議	毎月第3水曜日
施設運営委員会	毎月第4火曜日
サービス検討委員会 本館	毎週水曜日
サービス検討委員会 新館	毎週金曜日
入居判定委員会	毎月第4火曜日
安全管理委員会	毎月第4火曜日
介護員会議	毎月第4木曜日（介護技術研修等を定期的実施）
西グループ 介護員会議	毎月第4木曜日（介護技術研修等を定期的実施）
東グループ 介護員会議	毎月第4木曜日（介護技術研修等を定期的実施）
ユニット（1F） 介護員会議	毎月月末（介護技術研修等を定期的実施）
ユニット（2F道側） 介護員会議	毎月月末（介護技術研修等を定期的実施）
ユニット（2F山側） 介護員会議	毎月月末（介護技術研修等を定期的実施）
教育委員会	毎月第3水曜日
苦情処理委員会	毎月第3水曜日
給食委員会	毎月第4火曜日
防災管理委員会	毎月第2水曜日
労働安全衛生管理委員会	毎月第1金曜日
褥創予防対策委員会	毎月第3火曜日
感染症対策委員会	毎月第4火曜日
医療的ケア委員会 （本館）	毎月第3金曜日
医療的ケア委員会 （新館）	毎月第2月曜日

令和5年度 松豊会 施設外研修・会議

日時	研修・会議名	参加者
4/19	新型コロナウイルス感染症対策研修会	管施設長
6/7	令和5年度総会・情報交換会（松江圏域老人福祉施設協議会）	管施設長・吉田所長
7/6	令和5年度社会福祉法人指導監査説明会・研修会	管施設長・吉田所長
8/24	令和5年度公正採用選考人権啓発推進研修会・企業内人権同和問題トップセミナー	管施設長
10/3	第33回島根県老人福祉施設協議会研修大会	管施設長・吉田所長
11/22	令和5年度松江市社会福祉大会	管施設長
2/26	原子力災害時の社会福祉施設等の避難対策研修会	管施設長
3/6	令和5年度島根県老人福祉施設協議会第2回総会	管施設長・吉田所長

令和5年度松豊会役員会

日時	会議名	参加者
6/12	令和5年度第1回理事会	吉田理事長、理事5名、監事2名、事務局1名
6/27	令和5年度第1回評議員会	吉田理事長、評議員5名、監事1名、事務局2名
6/27	令和5年度第2回理事会	吉田理事長、理事5名、監事1名、事務局1名
12/5	令和5年度第3回理事会（書面決議）	吉田理事長、理事5名、監事2名
12/20	令和5年度第2回評議員会	評議員6名、監事2名、事務局3名
12/20	令和5年度第4回理事会	理事5名、監事2名、事務局1名
3/21	令和5年度第5回理事会	吉田理事長、理事5名、監事2名、事務局1名
3/21	令和5年度第3回評議員会	吉田理事長、評議員6名、監事2名、事務局3名

5年度 施設内研修会（実績）

開催回数	日付	時間	研修内容	講師	参加人数
1	4月25日	17:30～16:30	法令遵守、職員倫理規程、マナーアップ研修	津田の里 職員 在宅研修委員	在宅9名
2	4月26・27・28日	19:00～20:00	事故防止記録の研修	津田の里 職員 新館研修委員	新館18名
3	5月23・24・26日	19:00～20:00	食中毒について 緊急時の対応について	津田の里 職員 本館研修委員	本館31名
4	5月29・30・31日	19:00～20:00	食中毒について	津田の里 職員 新館研修委員	新館19名
5	6月20日	17:30～18:30	食中毒・感染症	津田の里 職員 在宅研修委員	在宅7名
6	6月21・22日	19:00～20:00	口腔ケアについて	津田の里 職員 本館研修委員	本館25名
7	7月26・28日 8月3日	19:00～20:00	法人理念、法令遵守	津田の里 職員 本館研修委員	本館27名
8	7月25日	17:30～19:00	I C T研修	津田の里 職員 在宅研修委員	在宅7名
9	8月28・30・31日	19:00～20:00	法人理念、法令遵守、服務規律、倫理規程、職場におけるハラスメント防止について	津田の里 職員 新館研修委員	新館21名
10	9月27・29・30日	19:00～20:00	感染症について	津田の里 職員 本館研修委員	本館25名
11	9月29日	19:00～20:00	虐待・身体拘束について (不適切ケアについて)	津田の里 職員 本館研修委員	本館7名
12	8月・9月・1月	19:00～20:00	感染症（ガウン防護服）	津田の里 職員 新館研修委員	新館17名
13	11月	19:00～20:00	スライドシートの研修	津田の里 職員 新館研修委員	新館23名
14	11月・12月	19:00～20:00	吸引と注入の研修	津田の里 職員 新館研修委員	新館17名

15	12月	19:00～20:00	感染症（手洗いの研修）	津田の里 職員 新館研修委員	新館23名
16	1月11・16日	19:00～20:00	事故防止について	津田の里 職員 本館研修委員	本館4名
17	1月30・31日 2月6日	19:00～20:00	ハラスメント	津田の里 職員 新館研修委員	新館22名
18	2月7・9日	19:00～20:00	身体拘束について	津田の里 職員 本館研修委員	本館25名
19	2月22・26・ 29日	19:00～20:00	看取りの研修	津田の里 職員 新館研修委員	新館16名
20	3月4・5・7日	19:00～20:00	看取りの研修	津田の里 職員 本館研修委員	本館24名
21	3月21日	19:00～20:00	事故防止について	津田の里 職員 本館研修委員	本館22名
22	3月28日	19:00～20:00	事故防止、身体拘束、虐待	津田の里 職員 新館研修委員	新館12名

2023年度 防災訓練実施報告

月 日	訓練事項	時間	備考
2023年 4月 12日(水)	BCP資料作成・防災管理委員会	14:30~15:30	防災委員3名にて資料作成
2023年 5月10日(水)	消火訓練・機械操作説明	14:30~15:00	新規採用社員参加。参加職員11名で消火器使用訓練を行う
	防災管理委員会	15:00~15:30	防災委員3名にて委員会開催
2023年 6月14日(水)	避難経路確認・清掃	14:30~15:00	職員2名にて施設屋上清掃
	防災管理委員会	15:00~15:30	防災委員3名にて委員会開催
2023年 7月 12日(水)	避難経路確認・清掃	19:00~19:30	職員4名にて施設園内清掃
	防災管理委員会	15:00~15:30	防災委員3名にて委員会開催
2023年 8月 9日(水)	土砂災害避難訓練	14:30~15:00	土砂災害発生訓練・全職員参加
	防災管理委員会	15:00~15:30	防災委員4名にて委員会開催
2023年 9月 13日(水)	総合避難訓練打ち合わせ・防災管理委員会	14:30~15:30	防災委員4名にて委員会開催
2023年 10月 11日(水)	緊急連絡訓練 総合訓練 <消防立ち合い>	14:30~15:30	消防立会いのもと避難訓練実地・職員26名参加
	防災管理委員会	15:30~16:00	防災委員4名にて委員会開催
2023年 11月8日(水)	日勤想定避難・通報訓練	14:30~15:00	火災発生訓練・15名参加
	防災管理委員会	15:00~15:30	防災委員3名にて委員会開催
2023年 12月13日(水)	実地なし		
2024年 1月10日(水)	危険箇所チェック	14:30~15:00	防災委員3名にて施設内危険箇所チェック
2024年 2月14日(水)	災害時備蓄品倉庫入れ替え	14:00~15:00	職員4名にて備蓄品確認を行う
	防災管理委員会	15:00~15:30	防災委員3名にて委員会開催
2024年 3月13日(水)	BCP資料作成・防災管理委員会	14:30~15:00	防災委員3名にて資料作成

令和5年度 特別養護老人ホーム津田の里本館 事業報告

1. 事業方針

法人理念に基づいた、施設サービスの質の向上に努め、定期的または必要に応じて、個別サービス計画の見直しを行い、支援を受けながら自己決定できるように、各部門及び各職種が連携を図り、「その人らしく」あり続けるための施設サービスを心がけました。

2. 介護部門（本館 多床室）

(1) ご家族に定期的に手紙や電話連絡等を行い、意向を尊重したサービス提供に努める。また、普段の様子を写真に撮り手紙に同封することで、ご家族に安心を届ける。

毎月の手紙や面会時に近況報告を行いました。また、ケア等に変更があれば速やかに電話連絡を行い、ご家族の意向確認と情報共有に努めた。

(2) 安全で居心地の良い生活を送って頂けるよう、居室内やホール、トイレ等の環境整備に努める。

定期的な換気や消毒の実施、感染予防や介助のしやすさに配慮したテーブル配置等を行うことで感染症の流行はなかったが、対面での会話や食事は制限された為、居心地の良さは担保できなかった。また、居室やトイレ等の環境整備が不十分で、使いやすく快適な空間を提供することはできなかった。

来期は、改修工事により食事や居室のスペースが確保されるため、安心して安全な環境を作っていきたい。

(3) 各専門職と連携を図り感染症対策と疾病の早期発見、予防に努める。

医務と連携を図り、感染症に備えた手洗いや防護服の研修を行い感予防に努めた。また、毎日、他部署と一緒にミーティングを実施し、情報共有を図ることで異常の早期発見や治療、リスク回避に繋げることができた。

今後も感染予防の研修や実践的な訓練を定期的実施していきたい。

(4) 各委員会を中心に介護員会で研修を行い、介護に携わる職員としての資質と技術の向上を図る。

職員のマンパワー不足から、現場が中心となって研修を行うことが出来ず、トップダウンの研修となり、自己研鑽に努める姿勢は不十分であった。

来期は、研修委員が中心となり現場発信の研修を企画し、一人ひとりのスキルアップを図っていきたい。また、機能訓練士と連携し介護スタッフが安全、安楽に福祉用具が使用できるよう勉強会等も行っていきたい。

(5) 虐待の芽チェックリストを行い、職員の接遇とサービスの質の向上に努め

る。

虐待の芽チェックリストを活用し、目標を設定し実践や評価を行い、介護員会で声かけや対応等の指導を行ったが、改善されないことも多かった。今後は、第三者の評価を増やし徹底した改善を図りたい。また、上司が手本を見せ職員に伝えていきたい。

3. 看護部門

(1) 健康管理と疾病の予防

ご入居者の毎日の体温、血圧、SpO₂、脈拍の測定や意識、呼吸状態の観察を行い異常の早期発見や、医師、介護職との情報共有に努めましたが、体調の変化に対して、チームとしてのアプローチや個々のコミュニケーション力の不足から迅速な対応に繋がらなかった場面もありました。次年度は、専門的知識を分かりやすく情報提供し療養上の指導を的確に伝えていくよう努める。

胸部レントゲン撮影と定期血液検査（年2回）を行い、疾病の予防や治療に繋がりました。

(2) QOLの向上について

ご入居者のQOLの向上に向けて、看護師として専門的知識や技術を提供しながら、多職種と共に症状マネジメントを行い、協力してケアを行ったが、ケアに対して、評価、見直しなどのPDCAサイクルの意識が低く、ケアの質を高めていくことが出来なかった。

(3) 看取り

本館2名、新館5名の方の看取りケアを実施した。（前年度 本館3名、新館4名）看取り開始については、医師やご家族、職員との情報共有を密に適切看取り実施中は、1週間に1回他職種でカンファレンスを実施して、ご本人やご家族に寄り添った、今できる最善のケアについて話し合いを行い、質の高い看取りケアを目指した。

(4) 感染予防

職員やご入居者の毎日の検温はもちろんのこと、体調不良者がいないか、常に注意し観察しました。また、職員の出勤時の抗原定性キットでの検査や標準予防策の徹底、防護服の着脱の研修等を実施し感染予防に努めました。

幸いご入居者のコロナ感染は無く、一定の効果はあったと思います。同時に流行したインフルエンザについては、2名の方が発症しましたが、感染が拡大することなく収束しました。

初動対応や感染管理（ゾーニング）、感染者への対応など、まだ、戸惑う場面もありました。

今後も、看護師が中心となり、定期的にマニュアルの見直しや感染症が発生

した場合、迅速なまん延防止策が講じられるように準備し、実践できるよう研修や訓練を重ねていきます。

(5) 職員の健康管理

職員の病気の早期発見、生活習慣病予防のため、年1回職員健診を実施。(夜勤業務従事者は年2回) 要精密検査者には受診の確認と声掛けを行い、結果は貴谷産業医が見て、「職場配置適正の有無」などを判断されました。

4. 栄養管理部門

(1) 栄養管理・経口維持への取り組み

栄養状態の悪いご入居者には、主治医の指示を仰ぎながら、医務や各部署の責任者と相談しながら食事形態、内容を変更し摂取量の安定が図れるよう努めました。また、摂取量が少ないご入居者には、十分な栄養量が摂れるよう適した栄養剤を提供しました。

認知機能や摂取嚥下機能の低下により食事の経口摂取が困難なご入居者に対して、歯科医師や看護師、介護職員等の多職種と協力し、食事の観察及び会議を行い、経口摂取が維持できるよう支援しました。

経口維持加算の対象の方は本館24名、新館8名でした。うち誤嚥性肺炎で入院されて方は本館7名、新館4名。

(2) 給食委員会の取り組み

ご入居者の栄養管理、検食、摂取・嚥下障害等について給食委員会で検討し、食事サービスの向上に努めました。また、行事食として、ご入居者に喜んで頂ける内容や季節の食材を取り入れた献立を組み入れ提供しました。

*令和5年度の行事食

5月～母の日（お刺身）	6月～父の日（お刺身）
7月～七夕（ソーメン）	8月～夏祭り（冷やしぜんざい）
9月～敬老会（お刺身）	12月～クリスマス会（オムライス・ケーキ）
1月～お節料理	大晦日（晦日そば）

*行事食以外にも、月に数回、麺類やちらし寿司、炊き込みご飯などご入居者に人気のメニューを取り入れることで、喫食率が向上しました。

(3) 衛生管理体制の徹底

集団給食衛生管理マニュアルに従い実施しました。また、食中毒や手洗いの資料配布や研修を行い、一人ひとりが正しい知識や技術を身に付けて実践できるよう努めました。

5. 機能訓練部門

(1) 個別機能訓練実施計画書を作成

施設サービス計画書に沿って、個別機能訓練実施計画書を作成し、個別機能訓練並びに生活リハビリ介護を行い、3か月ごとにご家族へ書面にてご入居者の訓練実施状況を説明し同意をいただきました。

今年度より、ワイズマンシステムSP導入となり、これまでの機能訓練計画書や生活機能チェックシートの移行作業及びADL等維持向上加算用のデータ評価と入力完了し、多職種との情報共有・連携の強化に努めた。

(2) サービス検討会への参加

サービス検討会議への参加し、ご家族へ訓練内容・実施状況・状態について説明を行いました。

サービス検討会議前に担当ケアマネジャーを中心に多職種と共に、事前カンファレンスを行い、情報共有を行いました。(訓練実施状況・他部署実施状況等)

施設への来里が難しいご家族に対しては、計画書を郵送させて頂き同意をいただきました。

(3) 個別訓練・生活リハビリの実施

個別機能訓練介入後、身体状況の一時的な改善やご入居者から満足感や安心感が得られている様子が見られました。実施にあたっては、対象者の生活スケジュールに合わせながら、課題となる生活動作を評価しつつ、生活リハビリ介入の一環として行う場面が多かった。また、身体状況に応じた訓練内容の調整、多職種への効果的な介助方法の提案や伝達を併せて行い訓練効果が持続するようフォローを行いました。

ご入居者の身体状況や基本動作、活動の遂行状況を都度評価したうえで、最適な福祉用具の選定・導入を指定業者と連携・相談しながら行いました。

(4) 集団活動・グループ活動の実施

本館ご入居者を対象に、食前の口腔・嚥下体操の継続的实施、季節行事の一環として、集団体操やレクリエーションを介護スタッフと協働で不定期に実施しました。

経管栄養対象者や昼食前の体操に参加が難しい方を中心に、グループ活動を企画、実施しました。

(5) 短期入所サービスのご利用者への個別機能訓練の実施

基本移動動作レベルの確認、評価を行い必要に応じて環境設定や動作介助のポイントを生活相談員や介護員に提案し、生活動作が安全に行えるよう支援しました。また、サービス担当者会議に参加し、身体機能・機能訓練的視点から見たご利用者の情報提供や共有を行った。

対象者の状態評価を行った上で、必要となる動作や課題を分析し、居宅ケアマネジャーと情報共有しながら、福祉機器のレンタル依頼や調整を行いました。

- (6) 介護スタッフを対象に安全意識・介護技術の向上を目的に研修会を実施
施設安全管理委員会での事故報告・ヒヤリハットの分析・検討をもとに、介護現場の安全性向上・介護スタッフの技術向上に向けた研修会を実施した。研修方法についても、介護現場でスタッフ活用できるように福祉用具の活用状況や身体介護時の基本的安全管理の実施状況について事前にアンケートを実施し、その結果から、「姿勢ケア」「動作支援」にテーマを設定しロールプレイ形式の小グループで研修を行いました。

6. 生活相談部門

生活の場であることを基本に、個々の心のケアに重点を置き、生活支援業務や相談業務を遂行すると同時に、地域と共にある福祉の拠点となるための地域貢献活動を行いました。

(1) 地域貢献事業

①地域交流

- ・規制緩和に伴い、さわやか会への参加回数も増え、恒例のそば打ちや小旅行にも参加し交流を深めることができました。

②ボランティア活動

- ・56名のボランティア様の協力を得て、7月から活動を再開することができました。しかし、コロナ前に比べると約半数に留まっているため、ご利用者のニーズに沿って参加者を増やしていきたいと思えます。

③多様化する福祉ニーズへの取り組み

- ・介護の基礎的事業として市社協からの協力要請を受けて、小中学校へ福祉学習の講義や車椅子体験等の出前事業を行いました。
- ・ふくしなんでも相談窓口事業の実績はありませんでした。今後は、地域の活動や交流の場を通じ啓蒙活動していきたいと思えます。

④介護予防への取り組み

- ・ボランティア活動の再開に伴い、松江市の「まめなかポイント事業」に取り組みました。
- ・介護保険制度や介護予防について、さわやか会様を対象に当法人居宅の相談員が講師となり研修会を開催しました。

③福祉防災マップの作成

- ・福祉防災マップの見直しを自治会や地区民生児童委員の皆さんと協働で行い作成しました。高齢者の独居世帯が増えている現状から、防災マップを

活用し支援の方法を検討していきたいと思ひます。

④地域住民への施設開放

- ・規制緩和に伴い、施設開放も徐々に進めました。次年度は、在宅の改修工事終了に合わせて、地域連携委員会で活用方法を検討していきます。

(2) 家族会の取り組み

- ・11月に本館・新館それぞれ対面での家族会を開催し、ご利用者の日常生活や行事、趣味活動の様子をパワーポイントで紹介しました。また、意見交換を通しそれぞれ顔の見える家族会となりました。次年度は、ご利用者も参加していただき、ご家族との交流の場にもなれば思ひます。併せてアンケートを実施し家族会への要望も伺いました。

(3) 入居判定委員会

- ・要介護者のニーズの多様化に伴い、それぞれのケースごとに受け入れの可否を検討しました。最近の傾向として医療ニーズの高い方、独居や身元引受人が遠方のケースが増えており、成年後見制度の活用等も推進しています。
- ・入居申し込み以外にも、各事業所との連携を密にしながら、速やかな入居受け入れに向けて取り組みました。
- ・短期入所生活介護事業との連携を密にしながら、ロングショート確保と円滑な入居への受け入れに努めました。

(4) 成年後見制度への取り組み

- ・新館は2名の方の申し立てに伴う書類の作成等を行いました。(1名は成年後見人が決定)本館は1名、身元引受人が亡くなられたため松江市長申し立てによる申請を行政機関と連携しながら行っています。
- ・認知症や障害などで判断能力が十分でない方の権利や財産を守るために重要なことであると考えます。今後も、成年後見制度の利用促進に向けた支援を強化して行きます。

(5) オンブズマン制度の活用

- ・該当事例はありませんでした。

(6) 安全管理への取り組み

- ・毎月の安全管理委員会で、虐待防止、身体拘束廃止、事故・ヒヤリハット事例を検討・分析し、再発防止へ取り組みました。
- ・虐待事例の発生はありませんでしたが、不適切なケアを改善するために「虐待の芽チェックリスト」を活用し、ケアの見直しを行い虐待予防に取り組みました。
- ・身体拘束事例の発生はありませんでした。
- ・事故発生時は、緊急で委員会を招集し、原因分析や対応を協議しました。事故件数は24件(前年対比-5)、行政機関への報告は5件(+3)でした。保険

対応は7件(-1)でした。(資料：別紙事故集計結果)

- ・ヒヤリハット件数は135件(-10)と減少しました。(資料：別紙ヒヤリハット・事故集計)
- ・ご入居者の重度化に伴い、事故に直結しやすいことも要因と考えますが、介助中の事故や誤薬・服薬管理等の防ぐべき事故も繰り返されています。多角的な原因分析と対策の迅速な情報共有と強化が、必要と考えます。
- ・什器の破損(ベット・リモコン)も増えており、ケアの手順の遵守等への取り組みも必要で、取り扱い等の研修も実施しました。
- ・虐待・身体拘束・事故防止・それぞれ各部署で相互学習という形で実践に繋がる研修になるよう企画、実践しました。

(7) 環境整備

- ・ご利用者に季節感や心地良さを感じて頂けるように、野外の除草作業や花木の植栽、野菜作りにご利用者を一緒に取り組みました。

令和5年度 短期入所・介護予防短期入所生活介護 事業報告

ご利用者、ご家族様の意向を踏まえケアプランを作成し、利用の都度、ご本人様の様子を聴取し再アセスメントしながら、適切な支援の提供に努め、併せてケアプランの見直しも行い満足頂ける支援の提供に努めました。

ご利用者やご家族のニーズを把握と満足度を調査するためアンケート調査を実施しました。また、ご入居者と一緒に家族会へも参加して頂きました。今後も継続しより質の高い支援が提供できるよう取り組んでいきます。

ロングショートを含めショートステイの受け入れに努めましたが、申し込み件数が少なく、目標稼働率を達成することは出来ませんでした。各事業所や医療機関との連携を図ると共に、多様化するニーズに対して個別に対応していきたいと考えます。

1. 事業方針

法人理念に基づいた施設サービスの質の向上に努め、定期的または必要に応じて、個別サービスの見直しを行い、支援を受けながら自己決定できるように、各部門及び各職種が連携を取りながら「その人らしく」あり続けるための施設サービスを心がけた。

2. 介護部門（新館 ユニット型個室）

(1) 24時間シートを活用し、ご入居者一人ひとりの生活リズムに合わせた個別ケアに努める。

勤務時に必ず24時間シートを確認するよう、職員間の情報共有に努めたが、変更を伝える付箋がそのまま、更新がタイムリーに行えなかった。次年度は、さらに活用しやすくなるよう定期的な更新を行っていきたい。

(2) ご入居者、ご家族の意向を伺い（モニタリング、サービス検討会開催時）、可能な限りご希望に沿えるよう努める。また、面会や電話、手紙で日常の様子をお伝えする共に、ご入居者ご家族の意向を把握し、信頼関係の構築とケアの向上に努める。

カンファレンスを開催し、ご家族やご入居者に参加して頂き、ご意見やご要望を伺い、関係部署と協議し、速やかに対応するよう努めた。

(3) コロナ禍でも季節を感じられ五感を刺激出来る行事や、趣味趣向に沿ったクラブ活動を開催し、楽しみのある暮らしが提供出来るよう努める。（給食、生活相談員と連携を図り、個別のニーズに出来るだけ沿った、食事、おやつ作り、クラブ活動を計画する。）

感染予防を行いながら、ユニット毎に誕生会や行事（おやつ作り・七夕会・花火鑑賞・スイカわり・干し柿づくり・クリスマス会・新年会）、レクリエーション（体操・ゲーム・カラオケ）、外出支援（花見・こいのぼり・ドライブ）また、地域のボランティアの方の協力を得てクラブ活動（習字・塗り絵・コーラス・ハンドマッサージ）も行いました。次年度は、ご家族のご要望でもある、ご家族と一緒に外出できる機会も設けていきたい。

(4) 日常生活の中でリハビリやクラブ活動等を通じて、食事・排泄・入浴が少しでも自立出来、残された機能が維持出来るよう努める。（機能訓練指導員と連携を図り、機能低下の予防と心身の活性化に努める。）

機能訓練士と連携しながら、ベッドや車いす上の姿勢を補正し、褥瘡や拘縮予防に努めた。また、安全な移乗動作の周知を行った。

昼食前のラジオ体操や嚙下体操の実施と午後は出来るだけ離床して頂く機

会を設けて身体機能の維持と心身の活性化に努めた。

(5) マナーアップ、事故防止、研修委員が中心となり勉強会を開催し、専門職としての知識向上とケアの質の向上に努める。(ユニットごとの勉強会や復命研修を行いケアの質の向上を図ると共に、福祉用具の使用、講習会を開催し、ご入居者、職員共に負担なく安全な介護を目指す。)

ユニット会を毎月開催し、職員間の情報共有を図り、統一したケアを行うよう努めた。

他部署の協力も得て、防護服着脱や手洗い、移乗介助の研修を実施したが、定期的開催は難しく、ケアの質の向上には至らなかった。次年度は、研修委員が中心となり現場のニーズを拾い、実践的で効果的な研修に繋げていきたい。

(6) エルダー制度を活用して人材育成と定着を図る。

正規介護職員1名の入職あり、副主任以上がエルダーとなって指導を行い育成に努めた。

令和5年度 津田の里 施設外研修・会議

日時	研修・会議名	参加者
4/20	SARAYA基本を学ぶWeb講座(知っておきたい食中毒予防のポイント)	石川管理栄養士
5/22	高齢者福祉事業所における虐待の防止について	古澤生活相談員
5/22	令和5年度第1回「介護の出前授業」コアメンバー会議	古澤生活相談員・須貝生活相談員
4/17~5/15・5/17~5/18・ 6/6~6/7・7/4~7/5	令和5年度介護支援専門員専門研修養更新研修(実務経験者)【専門研修課程I】	阪本副主任介護員
6/7~6/8・7/5~7/6・8/31	令和5年度島根県認知症介護実践研修「実践者研修」	大廻副主任介護員
6/5・6/18・6/27	日本栄養士会各種加算のととり方	安達管理栄養士・石川管理栄養士
6/8・6/9	誤嚥事故予防セミナー(ZOOM研修)	菅施設長・倉谷主任看護師
6/19	令和5年度第2回「介護の出前授業」コアメンバー会議	須貝生活相談員
6/27~29・10/5	令和5年度権利擁護推進員養成研修	古澤生活相談員
7/13	事故防止(リスクマネジメント)研修	古澤生活相談員
8/8	産休・育休に関する事務手続きセミナー	杉原事務員・小塩事務員
8/24	令和5年度第1回介護の出前授業(基礎的講座) 福祉コンシェルジュ全体会	須貝生活相談員
9/6	令和5年度島根県メンタルヘルスケア研修会	持田主任介護支援専門員
9/6	医療的ケア教員講習会	倉谷主任看護師
9/15	高齢者の摂食嚥下障害・誤嚥性肺炎研修会	福田機能訓練指導員・湊崎看護師
9/27・28	令和5年度「中堅職員スキルアップ研修」	木村介護員
9/30	2023年管理栄養士・栄養士のための地域共生セミナー	石川管理栄養士
9/28	介護報酬改定対応研修~介護施設・事業所における虐待防止及び身体拘束等の適正化について~	菅施設長・濱崎介護係長・福田機能訓練指導員・古澤生活相談員・須貝生活相談員
10/24	令和5年度福祉サービス苦情解決研修会	古澤生活相談員
10/28	地域医療従事者スキルアップセミナー	石橋看護師
11/6	関西・中国ブロック感染対策研修会	倉谷主任看護師
11/11	シーティングセミナー~座面ベースを作ろう~	福田機能訓練指導員
11/14	冬の感染リスクを防ぐ感染症対策研修	倉谷主任看護師
11/30	2023年度高齢者施設懇談会「終末期における意思決定支援」	湊崎看護師・久保田看護師
12/7	令和5年度高齢者虐待防止研修会	古澤生活相談員
12/13	介護職が学ぶ看取りケア研修	阪本副主任介護員
12/15	厨房委託脱却&ニュークックチル導入事例紹介セミナー	石川管理栄養士
12/15	口を開けない認知症の方の食支援アプローチ研修	久保田看護師
12/19	令和5年度「リスクマネジメント研修一般職コース」	村井主任介護員
2/21	健康保険・厚生年金保険の被保険者資格と適用拡大についての研修	小塩事務員
2/26	施設ケアマネジメント研修	阪本副主任介護員
2/28	令和5年度「地域の権利擁護支援体制づくり推進セミナー」	古澤生活相談員
3/15	「訴えが少ない…」些細な変化を“見落とさない”ための医学知識研修	小川看護師
3/16	介護職員向けはじめてのPC操作講座研修	濱崎介護係長
3/18	令和5年度松江圏域結核研修会	久保田看護師

令和5年度 津田の里ユニット 施設外研修・会議

日時	研修・会議名	参加者
7/19	令和5年度介護施設における安全対策担当者養成研修eラーニング	森山主任介護員
7/31・8/9・8/10	ユニットリーダー研修（講義・演習）	松下副主任介護員
8/21・22	甲種防火管理新規講習	山内介護員
11/22	令和5年度松江市社会福祉大会	松下副主任介護員
11/28	看護職のためのユニットケア研修	倉谷主任看護師
12/13	介護職が学ぶ看取りケア研修	川島副主任介護員
12/20	令和5年度「リスクマネジメント研修一般職コース」	森山主任介護員
1/30～2/2	ユニットリーダー研修（実地研修）	松下副主任介護員
2/26	施設ケアマネジメント研修	川島副主任介護員

令和5年度研修・実習等受入状況

本館

日付	依頼先	摘要

新館

日付	依頼先	摘要
10/10～10/13	島根県立松江農林高等学校インターンシップ（2年生）1名	

その他

日付	依頼先	摘要

令和5年度 事故集計

○令和5年度事故報告書・・・24件（-5）

（ ）前年対比

	本館	新館	医務	計
転落	4 (+2)	0 (±0)	0	4
転倒	2 (-1)	4 (+3)	0	6
内出血	0 (-1)	0 (±0)	0	0
骨折	1 (-3)	0 (±0)	0	1
誤薬	0 (-5)	1 (-1)	2 (+2)	3
火傷	0 (±0)	0 (±0)	0	0
行方不明	0 (±0)	0 (±0)	0	0
服薬管理	0 (±0)	1 (±0)	1 (+1)	1
誤嚥	0 (-2)	0 (±0)	0	0
紛失	1 (±0)	0 (-1)	0	1
破損	2 (-2)	4 (+3)	0	6
表皮剝離	1 (±0)	1 (±0)	0	2
計	11	10	3	24
1.マニユアル・ケア手順				
* 予見可能	9 (-11)	9 (+2)	3 (+3)	21
* 予見不可能	0 (-3)	0 (±0)	0 (±0)	0
2.福祉用具	2 (+2)	1 (+1)	0	3
3.環境	0	0	0	0
4.利用者・家族	0	0	0	0
5.その他	0	0	0	0

○行政機関への報告・・・5件（+3）

◇与薬忘れ1件、骨折2件、誤薬2件

○保険対応・・・・・・・・・・7件（-1）

◇本館4件（骨折3件、転落1件）

◇新館3件（義歯修理1件、ベッド破損1件、リモコン破損1件）

令和5年度 ヒヤリハット集計

○令和5年度ヒヤリハット・・・135件（-10）

（ ）前年対比

種別/部署	本館	新館	医務	計
転落	6 (-6)	2 (-5)	0 (±0)	8
転倒	5 (-5)	3 (±0)	0 (±0)	8
切り傷	2 (+1)	0 (±0)	0 (±0)	2
内出血	5 (-4)	3 (±0)	0 (±0)	8
打撲	2 (+1)	0 (±0)	0 (±0)	2
骨折	0 (±0)	0 (±0)	0 (±0)	0
表皮剥離	9 (+6)	1 (±0)	0 (±0)	10
火傷	0 (±0)	0 (±0)	0 (±0)	0
誤薬	0 (-3)	0 (±0)	0 (±0)	0
異食	3 (-4)	0 (-2)	0 (±0)	3
在宅酸素	0 (±0)	1 (+1)	0 (±0)	1
注入管理	0 (-6)	0 (-4)	0 (-6)	0
注射管理	0 (±0)	0 (±0)	0 (±0)	0
行方不明	0 (±0)	0 (±0)	0 (±0)	0
服薬管理	14 (+5)	6 (+2)	13 (-3)	33
誤嚥	1 (±0)	0 (-1)	0 (±0)	1
義歯管理	0 (±0)	0 (±0)	0 (±0)	0
紛失	1 (+1)	0 (-3)	0 (-1)	1
破損	4 (+3)	0 (-3)	0 (±0)	4
その他	30 (+17)	16 (+4)	8 (+4)	54
計	82	32	21	135
1. マニュアル・ケア手順				
* 予見可能	75 (-18)	30 (-1)	21 (-6)	126
* 予見不可能	6 (-6)	2 (-6)	0 (-1)	8
2. 福祉用具				
	0 (-1)	0 (-1)	0 (±0)	0
3. 環境				
	0 (-2)	0 (±0)	0 (±0)	0
4. 利用者・家族				
	0 (-4)	0 (±0)	0 (±0)	0
5. その他				
	1 (±0)	0 (-1)	0 (±0)	1

※その他の増加については、ワイズマンの選択肢の中に注入管理、注射管理、誤薬の項目がないことにより、その他で集計したため。

令和5年度 ボランティア一覧

No	活動内容	団体・個人名	備考
1	洗濯物収納、ウエス・牛乳パック切り	堀内 節子 様	火曜日 (本館)
2	〃	本田 富貴子様	
3	〃	岡田 幸子 様	木曜日 (本館)
4	〃	内田 佳津子様	
5	〃	國政 工美子様	土曜日 (本館)
6	〃	片桐 和子 様	
7	〃	濱 弘子 様	
8	合 唱	代表 菊池喜代子様	コールブルー (毎月)
9	抹茶会補助	代表 森脇昌子様	松江更生保護女性会 (本館偶数月、第三木曜日)
10	ウエス切り	代表 澤 三鈴様	NTTわかば会 (第三木曜日)
11	習字、写経	平野 吉郎 様	毎月、第四月曜日
12	ハンドマッサージ	西村 郁子 様	毎月
13	塗り絵	松尾 美津江様	毎月、第四木曜日

登録合計 56名

令和5年度 津田居宅介護支援センター事業報告

新規依頼は、初回訪問等の重複が無い限り受け入れました。その方を取り巻く環境が多様化している中、ご本人やご家族の意向に添い自立した日常生活が送れるよう課題を抽出しサービス調整を行うよう努めました。ケースによっては皆さんが安心して暮らせるよう地域の方、民生委員の方とも情報共有し連携を図りました。要支援の方の新規ケースが多いことから収益アップに繋がりませんでした。毎年、要支援者は増加しています。地域性もありますが、インフォーマルなサービスを組み入れながらサービス調整、包括支援センターへの提案を行っていきます。

虐待防止、身体拘束廃止、感染症対策などの研修会参加、業務継続計画の見直しや実施等職員のスキルアップに勤め健全な事業運営を行いたいと考えます。

居宅介護支援センター 研修・会議参加報告

日付	会議・研修名	場所	参加者名
R05.5.24、25	放射線治療について	松江赤十字病院	吉田・山田
R05.5.26	島根県介護支援専門員協会 総会	Zoom (在宅会議室)	持田・土江
R05.6.17	診療報酬・介護報酬同時改定動向セミナー	くにびきメッセ	吉田
R05.7.07	在宅医療連携推進のための多職種連携会議	松江記念病院	土江
R05.8.23	高齢者住まい看取り研修会	Zoom (在宅会議室)	吉田
R05.8.29.30	中国地区老人福祉施設協議会	岡山市民会館	山田
R05.9.6	島根県メンタルヘルスケア研修会	出雲市民会館	持田
R05.9.7	高齢者住まい看取り研修会	Zoom (在宅会議室)	持田・土江
R05.9.21	ブロック連絡会	松江市総合福祉センター	山田
R05.9.21	松江口腔ケア研修会	くにびきメッセ	山田
R05.10.3	島根老人福祉施設協議会	くにびきメッセ	吉田
R05.10.20	認知症ケアスキルアップ研修会	松江医療センター	山田
R05.10.26	ブロック連絡会	松江市総合福祉センター	吉田・土江・山田
R05.11.22	リハビリテーション研修会	いきいきプラザ	山田
R05.11.30	高齢者懇談会	生協病院	吉田
R05.12.4	松江市給付適正化研修	Zoom (在宅会議室)	持田・土江・山田
R05.12.7	高齢者虐待の防止に係わる研修会	Zoom (在宅会議室)	持田
R06.3.8	松江医師会介護支援専門員協会合同研修会	いきいきプラザ	土江

*毎週1回定例会を行い、個々のケース報告やサービス内容の確認、伝達研修等行いました。

令和5年度 津田訪問介護センター 事業報告

松江市の高齢者数が増加している事もあり、介護保険新規申請される方も増えています。主に、膝や腰の痛み、骨折後の自宅復帰などで掃除や買い物をご自分で難しくなり、生活援助の新規依頼が増えています。総合事業の方ですと収支が見合わないことと、職員のマンパワー不足もありすべてお受けすることが出来ず心苦しい状況ではあります。介護度1～5の方々、退院と共に高齢者住宅への住み替えの選択をされるので、全体の訪問実人数としては総合事業の方の訪問先が多数を占めています。

障害サービス事業は、受診介助の同行が月によって変動はあることと、入院者が年末に重なったことで、利用は伸びませんでした。介護保険事業と合わせ若干プラスとなりました。

また、R6年4月の報酬改定で、訪問介護事業（介護保険）の算定単位数が減算になりましたので、受け入れについては、収支バランスが取れるよう取捨選択を余儀なくされると思われまます。

R6年4月～新規パート職員の入職がありました。新規の職員も含め、虐待防止や災害時の業務継続計画に基づき研修会を行います。また、認知症の方へのケアについても新たに加算を取得したので、継続的な研修会を計画しています。

(1) 安心して日常生活が送れる支援

ご自宅の環境確認、体調確認等行い、感染症に留意しながらケアを行っています。感染症疑いの方の訪問も含め、担当ケアマネと連携しながら生活が維持できるよう努めました。

(2) 人材育成 自己研鑽

職員で集まる研修を控えていましたが、コロナも5類となり、職員の資質向上の為R6年度から毎月の研修会を予定しています。

(3) 業務の質の向上

タブレット導入により、速やかな回覧や状況確認が出来るようになり、また、実績入力もスムーズにできるようになり事務量は減少しました。今後は担当者会議の記録やモニタリング等の活用が出来るとさらに良くなるかと考えます。

(4) 実習生の受け入れ

本年度は、希望者がなく実績はありませんでした。

令和5年度・訪問介護センター 会議、研修会報告

日付	研修名	場所	参加者
R5.4.25	ミーティング(ケースアセスメント、豊会職員倫理規定、法令遵守マニュアル、マナーアップ研修)	旧デイサービスホール	ヘルパー9名
R5.6.20	ミーティング(ケースアセスメント、食中毒、感染予防研修)	"	ヘルパー7名
R5.07.25	ミーティング(ケースアセスメント、ICT導入研修、使い方講座)	"	ヘルパー7名

令和5年度 有償ヘルパー事業報告

有償サービス事業での人材確保はしていませんので、訪問サービスの人材で出来る範囲で希望されるご利用者への支援を行っています。

今後も介護保険給付費の増大予防として、介護保険外でのサービスを求められる傾向にあります。自宅での生活を望まれる方についてはニーズがあると考えます。(受診同行、窓ふきや、換気扇掃除、入浴介助、外出など)

また、受診予約時、帰宅時のタクシー不足から病院で30分以上タクシーを待つときもあり、今後、高齢者増加、免許返納者が増える為、有償輸送サービスや松江市への働き掛けも必要かと考えます。

令和5年度 津田の里駐車場貸付 事業報告

1. 事業方針

社会福祉法人松豊会が運営する社会福祉事業に支障がない限り、その収益を社会福祉事業または、公益事業の運営に充てることを目的とする。

2. 事業報告

8区間の内、6区間を地域の方に貸付しました。収益については、年度末に社会福祉事業の津田の里に繰り入れ、次年度からの運営に充てます。